

平成30年度 分科会施策の管理シート

分科会名	熟年元気づくり分科会	会長	宮口 英昭
------	------------	----	-------

重点項目	「働けるうちは働きたい～生きがい就労の創出～」及び「『人生二毛作時代』を目指して～『地域人』への円滑な移行～」	数値目標	【達成時期】 平成36年度末	分科会事務局	地域福祉課
			【目標値】 元気高齢者の割合を、平成32年度末には79.9%、平成36年度末には81.8%まで増加させる。		

	期 初(前年度末まで)			期 中(~9月)		期 末(~2月)…進捗・評価は見込で可		次年度へ 課題、 進捗管理継 続の要否 等
	【施策名・概要】 【実行する内容】 いつ、何を、どのように 等	選定した理由 どのような必要性に基づくのか 等	目指す成果 施策を実行した結果、どういった成果が現れる(水準、状態等を数値で)、その検証方法 等	分科会事務局 施策の進捗状況	分科会の意見 見直し、課題、助言等の内容	分科会事務局 実績及び成果に係る自己評価 評価	分科会の評価 達成度・成果について 評価	
1	生きがい創業ビジネス補助金事業 高齢者雇用につながる事業や高齢者による地域貢献事業または地域の高齢者を支援する事業補助金について、平成30年6月から公募を行い、交付者選定委員会で交付者を決定し、補助金を交付する。	高齢者の就労意欲は高く、働くことで生きがいを持った元気な高齢者を増やしていく必要があるため。	2件以上交付決定される。					
2	プラチナ大学事業 高齢者が関わる地域課題の解決に結び付き取り組みの開始や継続の支援となる連続講座を平成30年10月までに終了するよう実施する。	地域の担い手となることに、やりがいを感じ、生きがいとしていける元気な高齢者を増やしていく必要があるため。	4回以上の連続講座を行い、平均30名以上の受講がある。					
3								
4								
5								

- (注意事項)
- ① 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
 - ② 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
 - ③ 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たってのプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
 - ④ 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項